

会 議 録

会 議 名	令和6年度 第1回知立市総合公共交通会議
日 時	令和6年5月31日(金) 午前10時00分～11時45分
場 所	知立市役所 3階 第2・3会議室
次 第	1. 開会 2. あいさつ 3. 報告事項 (1) ミニバスの利用状況について 【資料 1-1～1-4】 (2) 地域公共交通網形成計画の数値目標に対する実績について 【資料2-1～2-2】 (3) R6 年度のスケジュールについて 【資料3】 (4) 夏休み期間中の中学生乗車キャンペーンについて 【資料4】 (5) 乗車料金種別調査について 【資料5】 (6) ドミーバス停の移設について 【資料6】 (7) EV 車両の試験運転について 【資料7】 (8) 令和7年度からの総合公共交通会議の体制について 【資料8】 4. 協議事項 (1) R7 年度地域公共交通網形成計画の別紙について 【資料9】 5. その他 6. 閉会
資 料	・次第、委員名簿、座席表、ミニバスガイド、活発で良い議論ができる会議のために。、愛知県バス会社合同就職説明会チラシ ・事前配布会議資料
出 席 者 《 》は 代理出席者	【委員】 山崎委員((公財)豊田都市交通研究所主幹研究員部長) 小林委員((公社)愛知県バス協会専務理事) 潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南市部長) 後藤委員(名鉄バス(株)運輸本部企画官) 高井委員(名古屋鉄道(株)地域連携部交通サービス担当課長) 永井《川畑》委員(愛知県交通運輸産業労働組合協議会幹事) 磯貝委員(知立市身体障害者福祉協議会副会長) 小菅委員(知立市区長会(昭和4丁目区長)) 岩城委員(知立市商工会女性部長) 竹山委員(公募市民) 山下委員(公募市民) 宮川《渥美》委員(中部運輸局愛知運輸支局首席運輸企画専門官) 石屋《名倉》委員(愛知県都市・交通局交通対策課担当課長) 渡辺委員(愛知県知立建設事務所維持管理課長) 高木委員(知立市都市整備部長) 近藤委員(知立市土木課長)

欠 席 者	三浦委員(知立老人クラブ連合会会長) 古川委員(愛知県安城警察署交通課長)
-------	--

内容(概要)	
1. 開会	
(司 会)	定刻となりましたので、ただいまより令和6年度第1回知立市総合公共交通会議を開催いたします。 本日はお忙しい中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本日の会議出席者は16名で、全委員18名の過半数を超えておりますので、会議は成立していることを報告いたします。本日は傍聴者もおりますので、ご了承ください。 それでは、会議に入ります前に、資料の確認をお願いいたします。本日配布させていただきました「総合公共交通会議委員名簿」と「座席表」の両面のもの、「ミニバスガイド」、「活発で良い議論ができる会議のために。」の冊子、資料5「乗車料金種別調査について」、事前にお送りしました「会議次第」、「令和6年度第1回知立市総合公共交通会議資料」です。お手元にごございますでしょうか。 それでは、はじめに市長よりご挨拶申し上げます。
2. あいさつ	
(市長)	本日は、ご多用の中、令和6年度第1回目の「知立市総合公共交通会議」にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。委員の皆様におかれましては、日頃からそれぞれのお立場で市交通行政に対し、ご理解ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。 コロナ禍も過ぎ、ゴールデンウィーク中の中部国際空港の国際線の利用者が昨年度比2倍になるなど、お出かけ需要が増し、各地でも今まで中止されていたイベントが開催されるようになりました。知立市においても、5月2日と3日には6年ぶりとなる知立まつりの本祭りを開催することができ、多くの方に足を運んでいただきました。公共交通サービスとしては、鉄道、バス、タクシーの乗車人員も、少しずつ回復傾向にあり、先行きに明るさも見え始めています。今後は地域の暮らしを支えるとともに、地域のお出かけ需要を支える手段として確保、維持することは、ますます重要となってきています。 さて、現在知立市では、4月16日よりミニバスの一部のコースの便を名鉄バス知立営業所様のEV車両に変更して試験運行しています。走行時に二酸化炭素を排出しないEV車両は、昨今の地球温暖化抑止の取り組みとなるだけでなく、災害時の非常電源としても使用可能であることから、市としても将来的なミニバス車両更新の際の参考とするため、試験運行に協力しています。委員の皆様におかれましても、ぜひこの機会にご乗車いただければと思っております。結びにあたりまして、委員の皆様におかれましては、豊富な知識とご経験を活かし、広範な見地から忌憚のないご意見を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせていただきます。 本日はよろしくお願いいたします。

- (司 会) 市長は公務のため、ここで退席をさせていただきます。
- 知立市総合公共交通会議の委員任期は2年となっており、現在1年が経過しました。今回、人事異動等で新たに委員になられた方もいますが、自己紹介は省略させていただき、委員名簿にてご確認をお願いいたします。
- 議事に先立ちまして、お手元に配布しました「活発で良い議論ができる会議のために。」の冊子とチラシについて、愛知運輸支局渥美様よりご説明をいただきます。
- (委 員) 冊子の説明
- (司 会) ありがとうございます。
- 本日は議事に先立ちまして、報告事項8件、協議事項1件のご審議をお願いいたします。市民の皆様にとってより便利なミニバス運行ができるよう、さらに協議を重ねていきたいと考えておりますので、委員の皆様方には、ご協力をお願い申し上げます。それではここからの議事進行は、議長の山崎委員に交代させていただきます。山崎委員、よろしくお願いいたします。
- (議 長) こんにちは。ご指名にあずかりました公益社団法人 豊田都市交通研究所の山崎でございます。知立市総合公共交通会議の議長を務めております。初めての方もみえますので、自己紹介をさせていただきます。私が勤めております研究所は豊田市にある公益財団法人でございまして、交通の事を専門的に研究している団体です。
- 冒頭に市長からお話のありました EV 車両について、すでに乗られた方もいらっしゃるかもしれませんが、先週北海道で学会がありまして、EV 車両の見た目で乗りたいと思うか発表していて興味深かった。乗り心地が違いますので是非乗ってみてください。
- それでは、次第に沿いまして、3. 報告事項(1)「ミニバス利用状況について」を事務局より説明をお願いします。

3.報告事項

- (事務局) 【資料1-1～1-4に基づき説明】
- (議 長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。
- (委 員) 資料1-4の各停留所における年間利用者について、年間3人しか利用者がいないバス停もあるかと思うが、こういうバス停について廃止や移設するタイミングや基準はあるのでしょうか。
- (事務局) グラフは各停留所における乗車の人数を記載しており、そのバス停で降車されるお客さまは含まれていないため、実際はもう少し利用されている印象です。利用客数が極端に少ないバス停につきましては、令和7年度にダイヤ改正を予定しておりますので、ご意見を伺いながら検討を実施していきます。
- (議 長) 利用者の少ないバス停は、場所を変えるだけでも利用が増えるかもしれません。今走っているルート上にあるバス停については、利用者が少しでもいれば、利用者が少なくともそのままが良いと思います。しかし、ルートを外れたところにあるバス停の利用者があまりにも少なく、そのバス停を廃止することで時間を短縮できる場合は、検討した方がよいかもしれません。事務局でまた検討いただきたいと思います。その他に質問はいかがでしょうか。
- (委 員) 資料1-1のミニバス利用状況について、3コースの令和5年度の利用者人員をみると、令和元年よりも多く、過去一番多い平成29年度とほぼ同様の水準まで来ており、他のコースよりも回復が早いのはなぜでしょうか。他のコースとの違いについて教えてください。

- (事務局) 3コースについては非常に伸びている状況です。資料1-4を見ていただくと、3コースのバス停で多くご利用いただいているのが知立駅、アピタ、東刈谷駅北口ということで、ここが大きく伸びており、3コースの合計人数を引っ張ってくれている要因と考えています。もともと3コースにつきましては、買い物や通勤通学の利用が多いことが調査で分かっておりまして、コロナ禍の影響が収まってきたことによって、客足が戻ってきたというのが一番顕著であるのが3コースであるかと分析しています。
- (議長) ありがとうございます。
- (委員) 3コースは利用したことはありませんが、名鉄とJRが両方あるのが強いのではないかと感じました。知立に住んでいる方だと、JRを利用するには刈谷駅や名古屋駅まで出ないといけないので、JRにつながるバス停に乗り入れると利用者増加につながるのではないかと思います。
- (議長) 住民目線でのご意見をいただきました。それに関連してお聞きしたいのですが、東刈谷駅北口の利用の方は鉄道乗り換えが目的かと思いますが、知立駅利用の方も同様に鉄道乗り換えなのか、あるいは知立駅周辺に何かおでかけ先があつての利用なのか、事務局の方いかがですか。
- (事務局) 東刈谷駅北口は近隣の刈谷駅のご利用や勤め先がある方の利用が多いと思いますが、知立駅は駅周辺にオフィスがあまりないので、路線バスや名鉄を利用する方が多いと感じています。
- (議長) 次期計画策定の際に、各路線でどのような方が利用されているか目的をおさえるとよいかと思います。
- (事務局) 各交通手段の利用割合は調査していますが、知立駅からどこに向かっているかというピンポイントの調査は実施していません。
- (議長) ありがとうございます。引き続き調査をお願いします。その他いかがでしょうか。
- (委員) 運転免許自主返納者がどのくらいいて、返納した後にミニバスを利用しているか知りたいです。
- (事務局) 令和5年度は13の方が免許返納を行っています。その方たちがミニバスを日常的に利用されているかどうかまでは把握できていません。
- (議長) のちほどの乗車料金種別調査についてでも、詳しくお話があるかと思います。
- (委員) 先ほどの話題に戻ってしまいますが、住民目線で話をさせようと、東刈谷駅も野田新町駅もJRが停まるが、野田新町駅は北も南もほぼ何もないです。東刈谷駅は南口の方に行くと、ドンキホーテやマクドナルドとか目的で行くような場所があったりもするので、そこが乗降数の差に現れているのかなという気がします。
- (議長) ありがとうございます。続きまして資料2-1、2-2の説明をお願いします。
- (事務局) 先ほど委員の方のお話にありました東刈谷駅が多い理由ですが、野田新町駅は普通列車しか停まりませんが、東刈谷駅は快速列車も停まりますので、利用に影響があるかと思います。
- 【資料2-1、2-2に基づき説明】
- (議長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。
- (委員) ミニバスとは関係ないが、空港アクセスバスについて、現在知立発は一日一便だった気がします。資料2-1で空港アクセスバスの利用が、2017年時点では1日当たり32名の利用実績ですが、令和4、5年度は大体1日当たり2人ということで、2026年の目標値とかけ離れています。目標値35人というよりは、一日一便で廃止の方向に向かってしまうのではないかと思います。市として利用者を増やすために増便を依頼するなど対応はあるのでしょうか。
- (事務局) たしかに実績と目標値が乖離していることは認識していますが、現状市が補助していくことは考

えていません。

(議 長) ありがとうございます。名鉄バス様いかがですか。

(委 員) 現状インバウンドが非常に多く、外国人利用者等空港の利用者が増えればダイヤの見直しも検討しますが、一番ネックになっているのが乗務員不足です。2024 年問題で、現状の便を維持するのも大変な状況であり、増便も難しいです。便数が増えれば利用者の方は満足いただけるかもしれませんが、便数、乗務員、経費、ご利用される方のバランスを考えると現状では利用者満足度向上まで検討することは難しいと思っています。

(議 長) ありがとうございます。その他いかがでしょうか。

(委 員) 先ほどの 2024 年問題に関して、乗務員の拘束時間を短くすることが課題となっておりまして、刈谷駅から知立駅までのばすと乗務員の拘束時間が長くなってしまいます。

(議 長) 知立駅から刈谷駅まで出ると本数が増えるので、利用者側もうまく他の交通手段を使って利用していくのが良いですね。その他いかがでしょうか。

(委 員) 2024 年問題の話が出てきたので、資料 2-1 の一般タクシーの利用もこういった状況で、最近ニュース等でライドシェアの話も出ておりますので、若干補足させていただきます。日本型ライドシェアということで、手を挙げたタクシー事業者が 2 種免許を持っていないドライバーを雇ってライドシェアを行うことが認可されて一部名古屋市でやっています。知立市や愛知県内では、今のところ事業者としては手を挙げる状況になっていません。理由としては、各社若干ですがドライバーの数が伸びてきていることと、利用者数が 2022 年度より若干伸びているという数字ですが、足下を見ると 3 月 4 月 5 月ぐらいでいうと、昨年よりも売り上げが落ちているドライバーが多いことです。お客さまのご利用に関してはマッチングしない状況が少なくなっているんじゃないかというところではあります。正規の新人のドライバーを採用したのを教育する方を優先して、ライドシェアは検討していない状況です。住民の方から、この時間帯、この場所でタクシーが全然捕まらないよという意見があれば、またご相談いただけたらと思います。

(議 長) タクシーもバスも色々な問題を抱えるなかで何とか地域の公共交通を担っていただいている状況です。無くならないように全体で支えていけたらと思います。ありがとうございます。その他いかがでしょうか。では、資料 3 の説明をお願いします。

(事務局) 【資料 3 に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。

(委 員) 三河知立駅の乗入に関するアンケート調査実施について、駅利用者及び周辺住民へのアンケート調査ということですが、これは移設後の方に限定されるのでしょうか。もともと私が三河知立駅を利用しており、豊田市方面へ向かっていたが、現在は知立駅まで出ています。もしミニバスが三河知立駅に乗り入れて、いい時間があれば、豊田市方面へ行く際は利用したいと思っています。三河知立駅を使えなくなってしまった人への調査も検討してもらえばと思います。

(事務局) 移設前の三河知立駅をご利用されていた方のその後のアンケートについては認識が抜けておりました。今回のアンケートの趣旨は、新しい三河知立駅に実際にバスが乗り入れた場合に、利用される方がいるかどうかが一番把握したい内容です。駅を利用された後、どこに向かわれるのか、また駅で乗ってどこに行かれるのか、実際の利用者の方の行動を把握させていただくためのアンケートです。駅をお使いいただく機会が一番多いのが周辺住民の方かと思います。方法としましては、できれば QR コードを用いたペーパーレスで行いたいと考えていますが、お年を召した方ですとなかなか難しいと思いますので、周辺住民の世帯をいくつかピックアップさせて

いただいてポスティングさせていただくような形で対応できたらと考えています。この方法につきましても、検討段階ですので、どういう形でやっていくかというのは協議していきたいと考えています。

(委 員) 公式 LINE の利用はいかがですか。

(事務局) 公式 LINE ですとフォローされている方全体が対象となり、確か調査対象を絞ることができないと思います。全体の意見として三河知立駅にミニバス乗り入れが必要かという調査よりも、周辺住民の方にフォーカスした調査結果がほしいと考えています。公式 LINE で対象地区を絞ることができれば検討させてもらうが、全体でのアンケートは検討していません。

(議 長) 委員のご指摘の通り、ミニバスが必要なのは駅まで歩いて行ける範囲の住民というよりは、駅から半径 1 キロ以内の方かと思います。また今まで移転前の三河知立駅を利用されていた方の声も聞いた方が良いと思います。またアンケートについて、自分の住む地区を回答するようにしておく、色々な地域から回答が出てきても集計は可能な気がします。また事務局の方でも検討してもらえたらと思います。その他いかがですか。

(委 員) 三河知立駅の乗入に関するアンケートについて、調査対象を周辺住民に絞りたいのであれば、回覧板を利用してはいかがでしょうか。高齢の方には手書きで記入してもらえば良いかと思います。あと、もし三河知立駅にミニバスが乗り入れてほしいという意見が多く、乗り入れることが決定した場合は、ダイヤ改正の令和 7 年からでしょうか。

(事務局) 回覧板にアンケートを入れていただき、1 枚ずつ回答いただくのも良いかもしれません。方法の一つとして検討させていただきます。乗り入れ時期につきましては、令和 7 年がダイヤ改正ですので、その時期に見直ししたいと思います。

(議 長) その他いかがでしょうか。では、中学生乗車キャンペーンということで資料 4 の説明をお願いします。

(事務局) 【資料 4 に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。

(委 員) モデルコースであんくるバスの利用について記載があるが、あんくるバスは無料ではないですか。

(事務局) あんくるバスは無料ではないです。

(議 長) そうですね。今のままですと、小中学生がお金を持たずに乗車し、デンパークまで向かう可能性もあるので、あんくるバスについては追記をお願いします。

(事務局) ご指摘ありがとうございます。修正させていただきます。

(委 員) おじいちゃんおばあちゃんが、小中学生の孫を連れて乗車した場合、おじいちゃんおばあちゃんは無料になりますか。幼稚園児保育園児は無料ですか。

(事務局) 高齢者無料パスケースをお持ちの方は無料で乗車いただけます。乗車無料対象でない方は乗車料金をお支払いいただけます。小学生以下は無料でご乗車いただけます。

(委 員) ミニバスに乗って出かけてみようの案内で、デンパークもいいですが、中学生が自主勉強できる場所を掲載しても良いかもしれません。例えば図書館や、文化広場など自主勉強できる場所が増えているようなので、掲載するとミニバスで出かけてみようと思う中学生もいるかもしれないので、検討してみてください。

(事務局) 委員のおっしゃるとおり、中学生乗車キャンペーンで利用の多いバス停は図書館とウォーターレス、アピタ、知立駅となっております。夏休み期間中の調査結果につきましては、次回の総合

公共交通会議で報告させていただきます。今年については、よいとこ祭りとデンパークを掲載しておりますが、以前は図書館やウォーターパレスへの行き方について掲載するなど、年々変更しています。掲載先については参考にさせていただきます。

(議 長) その他いかがでしょうか。では、乗車料金種別調査について資料5の説明をお願いします。

(事務局) 【資料5に基づき説明】

(議 長) ありがとうございます。先ほど委員よりご質問のありました運転免許自主返納者の割合がどのくらいいるかについては、この資料を見ていただくとわかると思います。乗車料金種別調査の結果を見ると、全体の2.6%いらっしゃるということです。

(委 員) 今まで車を使われていた方がどうやって移動されているか心配になって質問しました。自分が返納した場合のことを考えると、ミニバスが1時間に1本で、本当に動けるのか、今自主返納している方がどのようなお考えか気になります。免許返納された後は市役所で何か申請がいるのですか。

(事務局) はい。免許を返納された後に安心安全課で申請が必要です。

(委 員) 申請した人の行動範囲に合わせて、ミニバスの乗り方を示したりはしていますか。

(事務局) ミニバスガイドを交付していますが、まちづくり課からミニバスの乗り方について案内は実施していません。

(委 員) そうなると本当にミニバスが使いやすいかどうか分からないですね。何歳以上の方がよくみえるのでしょうか。

(事務局) 対象になるのは65歳以上の方です。

(議 長) 中学生乗車キャンペーンのチラシ同様、運転免許自主返納者に向けたモデルコースを作成すると良いですね。また事務局で検討をお願いします。その他いかがでしょうか。続きまして、ドミナバス停の移設についてということで資料6の説明をお願いします。

(事務局) 【資料6に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。もうすでに、道路管理者や公安協議は実施されており、軽微な移動のため報告事項となっております。

(委 員) 資料の書き方についてお願いがあります。バス停移設の経緯について、口頭で住宅建設のためと説明がありましたが、資料にも何故バス停移設が必要になったのか記入いただいたほうが分かりやすいので記載してください。

(事務局) 個人の住宅建設であるので、資料上は「周辺環境の変更による」と記載いたしました。

(委 員) 分かりました。周辺環境の変更だと工事か何かで安全確保が出来ないから等想像してしまい、なぜ周辺環境が変わったからバス停移設が必要かと思ってしまうので、「バス停として安全確保が難しいので」など言葉があると分かりやすいと思います。

(事務局) 今後は気を付けながら作成していきます。

(議 長) 私も事前打ち合わせの際に気になった点でした。ありがとうございます。その他いかがでしょうか。では、乗車料金種別調査について資料7の説明をお願いします。

(事務局) 【資料7に基づき説明】

(議 長) ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。

(委 員) 試験運行はいい事だと思いますが、試験運行した結果をどう回収するか教えてください。

(事務局) 事務局からとしては、ミニバスの車両がコースを走れるのか、また夏場冬場の燃費がどの程度

のものなのか、そういった情報を今後名鉄バス様から頂けたらと思います。市役所にも EV 車両に乗った感想をお寄せいただける方もいらっしゃると思いますので、意見を集約して検討していきたいと思っています。

(委 員) 試験運行を実施することで、市民の方の目にも止まります。1点ポンチョと異なる点は、ハンドルの切れ角が悪く、ポンチョでは曲がれるが EV 車両では曲がれないという性能上の課題があります。その点も含めて、実際のコースを走行できるか試験運行を実施しています。アンケートとして実施しているわけではありませんが、お客様からよく聞かれる声として多いのが音が静かであること、またモーターで走りますのでギアチェンジのショックがないのがよいと営業所からは聞いております。

(議 長) 名鉄バス様として今回お客さまアンケートを実施するというよりは、あくまで試験運行を行うということですね。そうするとやはり市のほうで、お客さまの声を拾えると良いと思います。また検討いただけたらと思います。では、資料8の説明をお願いします。

(事務局) 【資料8に基づき説明】

(議 長) ありがとうございます。今後この会議をこのように改めていきますという報告でした。次回の総合公共交通会議で新しい設置要綱等を協議していくということです。ただいまの説明について、ご意見・ご質問等はございませんか。

(委 員) 国としても地域公共交通網形成計画で計画された内容を補助、支援していくという方針になっていますので、手続きが必要になることもございますがご理解いただけたらと思います。

(議 長) ありがとうございます。その他いかがでしょうか。それでは報告事項は以上になりまして、続きまして、協議事項(1)「R7年度地域公共交通網形成計画の別紙について」を事務局より説明をお願いします。

4. 協議事項

(事務局) 【資料9に基づき説明】

(議 長) 地域公共交通網形成計画の別紙を作るという内容のご説明でした。ご意見ご質問ありましたらお願いします。よろしいですかね。

少し内容が難しいですが、地域間幹線系統という地域をまたがる路線について補助があり、今までは愛知県を通して補助申請していましたが、今回補助の仕組みが変わり、地域公共交通網形成計画の別紙を作るということになりました。今後軽微な修正はあるということですね。

(事務局) 6月30日が申請の締め切りとなっておりますので、運輸局からの指摘等ありましたら、修正の上申請いたします。

(議 長) この案件については審議事項となりますので、採決をとらせていただきます。軽微な修正はあるとのことですが、ただいまの議案に関しまして、承認していただける方は挙手をお願いします。
(全員挙手)

(事務局) ありがとうございます。全員の方から挙手いただきましたので、議案どおり承認させていただきます。これで、本日の議事は終了しました。最後に今回より委員になられた方がいかなうでしょうか。

(委 員) 普段あまりミニバスを利用していませんが、色々な使い方があって感じました。路線関係について、1時間半に1本など、もう少し各コースとの繋がりがスムーズになるとより利用しやすくなるかと思います。あと、イエローとパープルの利用者数について見たときに、パープルは9便のところ、イエローは11便あるので、これによっても利用者数に影響があるのかなと感じました。

	収益性を上げると考えた場合、利用者数が多いところの便数を増やしても良いかもしれない。
(議長)	ありがとうございます。色々な見方があるのでよいですね。それでは事務局にお返しします。

5. その他	
(司 会)	ありがとうございました。5. その他にはいります。 委員の皆さんからご意見・ご質問等がありましたらお願いします。
(委 員)	【各委員よりお知らせ】
(司 会)	ありがとうございました。他にはございませんか。 では、事務局より2点連絡事項がございます。
(事務局)	【連絡事項の説明】
(司 会)	それでは、本日の総合公共交通会議はこれで終了とさせていただきます。 本日は、お忙しい中ありがとうございました。
6. 閉会	